

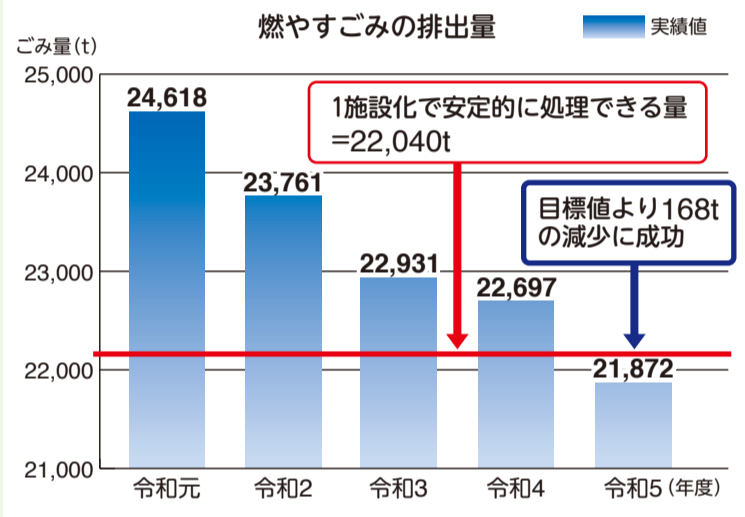
令和5年度に市内で出された燃やすごみの量は、2万1872トン。この中には、資源として生かすことができるものも含まれています。草木類や雑紙など資源化できるものを正しく分別することで、ごみから資源へリサイクル(再利用)することができ、燃やすごみの削減につながります。分別を徹底し、ごみの中から資源化できるものを救出しましょう。  
清掃リサイクル課 94-7502

回収した草木類の仕分け作業

### ごみを減らそう 安定的な処理への道

伊勢原市と秦野市の燃やすごみは、伊勢原清掃工場とはだのクリーンセンターの2施設で焼却処理していましたが、施設の老朽化のため伊勢原清掃工場の焼却炉を停止し、4月からはだのクリーンセンターの1施設で処理を行っています。

1施設で燃やすごみを安定的に処理するため、本市の燃やすごみの排出量を年間2万2040トン以下にすることを目標としていましたが、令和5年度の排出量は2万1872トンで皆さんの減量に対する取り組みにより目標を168トン下回ることができました。現状では目標値を下回ることができてい

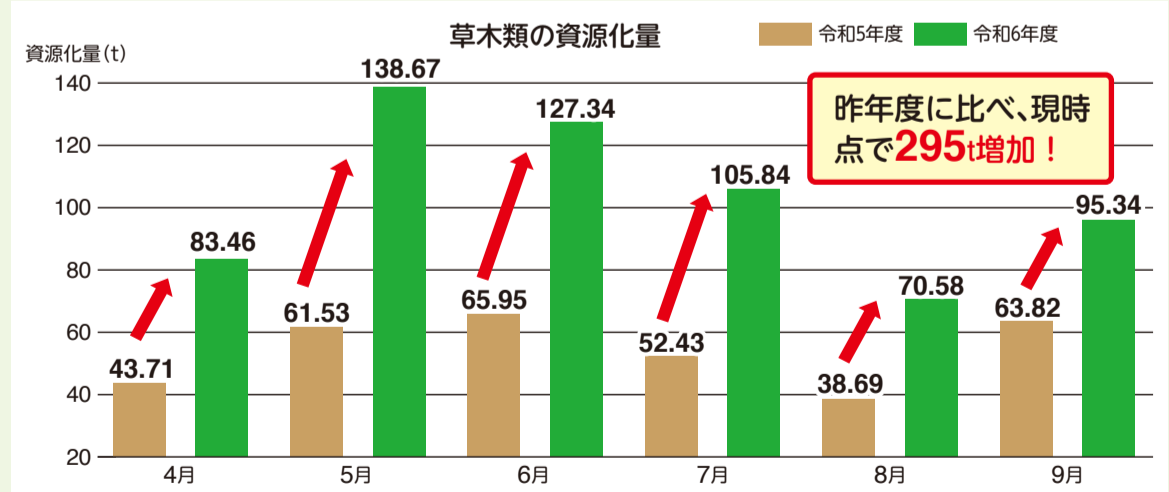


ますが、まだまだ削減できる余地があります。今後も更なるごみの減量、分別にご協力をお願いします。

### 草木類の収集で資源を救出

4月から草木類のステーション収集を開始したことにより、資源化量が大幅に増加しています。資源化量が増えたことで、燃やすご

みの総量は昨年度の同時期と比較して減少しています。



家庭から出るせん定枝や刈草、落ち葉などは、燃やすごみではなく草木類として分けることで、たい肥などにリサイクルすることができます。処理に手数料はかかりません。分別すれば資源になりますが、他のものを混ぜるとごみになってしまいます。正しく分別し、リサイクルにつなげましょう。

清掃リサイクル課 鈴木さん(収集担当)

### 草木類を出すときのポイント

#### ポイント1 異物は混ぜない

収集した草木類の中には、資源化できないものや一般ごみが混ざっているものが見受けられます。他のものは混ぜないようにしましょう。

#### 資源化できないもの

- ◆竹・ササ類◆根株◆芝生◆野菜や果物などの果実◆キョウチクトウなど毒性があるもの◆角材や板、木製品

#### 実際に混入していたもの(例)

- ◆軍手やビニール手袋、鎌などの道具◆苗や花などが入っていた園芸用のポットやスズランテープなどのひも類◆たばこの吸い殻やお菓子の袋、空き缶やペットボトルなどのごみ◆角材や木製品を分解したもの



#### ポイント2 出し方に注意

中身が確認できる透明か半透明の袋をご利用ください。土のう袋や米袋(紙袋)、肥料やたい肥などの中身が確認できない袋で出されていることが多くあります。また、袋に入れ

#### ポイント3 回収の対象にならないものに注意

家庭から出た草木類であっても、造園業者やシルバー人材センターなどの事業者に依頼して処理したものは回収の対象になりませ

### 草木類の収集方法

#### ステーション収集

週2回ある燃やすごみの日のうち、最初の日に収集します。他のごみと同様に午前8時30分までに出してください。燃やすごみと草木類はステーション(集積所)内で分けてください。量が多い場合は、何回かに分けて出すか戸別回収や自治会回収をご利用ください。

燃やすごみの収集	草木類の収集
月・木曜日の地区	毎週月曜日
火・金曜日の地区	毎週火曜日
水・土曜日の地区	毎週水曜日

#### 自己搬入

草木類を環境美化センターへ持ち込んでください。搬入物を確認し、「搬入確認済書」を発行しますので、指定事業者へ直接搬入してください。搬入できる量や大きさに制限はありません◇搬入確認済書の発行は月～土曜日の午前9時～11時、午後1時30分～4時(祝日、年末年始、資源化事業者の休業日を除く)

手作業で分けているので、とげのある木(かんきつ類やバラ科)が指に刺さることがあります。とげが入っていることがわかるよう、袋に貼り紙をするか記載してください。

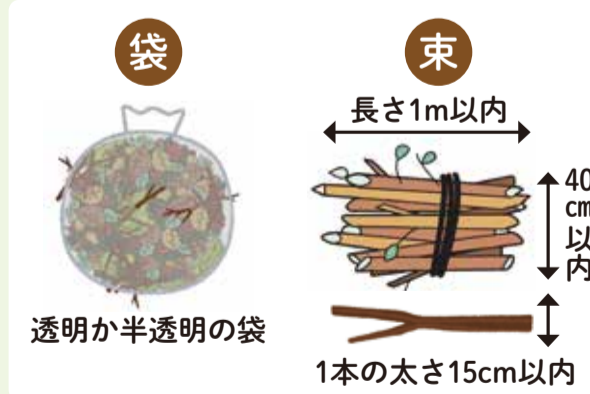


指に刺さると危険です

る際は、土や泥をよく落としてください。袋に雨水などが入らないように、雨の日は特に固く結び、結び口を下にして出しましょう。

#### 戸別回収

担当へ電話で回収の日程を確認し、お申し込みください。回収できる量や大きさに制限があります。目安は45ℓの袋に入れて2袋以上、または3束以上(枝1本あたり1m以内かつ太さ15cm以内)です。



#### 自治会回収

自治会によっては、専用の草木類集積所を設けています。手軽に捨てることができ、自治会ごとにまとめることで効率的に集められます。

### ざつがみ 雑紙救出大作戦

楽しく環境問題に取り組む機会として、夏休みを利用し、雑紙救出大作戦を市内10小学校で行いました。子どもたちは、燃やすごみに含まれることの多い雑紙(菓子箱やトイレットペーパーの芯、チラシなど)を集め、夏休み明けにそれぞれの小学校へ持ち込みました。今年で3回目の取り組みとなりましたが、ティッシュペーパーの箱についているビニールやカレンダーの金具など、雑紙ではないものがき

ちんと分別されているなど、年々分別の精度が高まっている様子が見られました。

集められた雑紙がリサイクルされると何になるのかを子どもたちに知ってもらうため、市内の資源回収事業者である、有限会社タチオカ商会より、雑紙で作られたトイレットペーパーを提供していただき、各小学校へ配布しました。



市内10小学校で 合計2,229kgの 雑紙救出に成功

### 分別の徹底で火災事故を防止

近年、モバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池を使用した製品やスプレー缶などが、正しく分別されずに収集車の中で押しつぶされて起きる火災事故が全国的に増加しています。

市内でも誤った分別によるごみの発火が起きており、令和5年11月に燃やすごみに混ざっていたリチウムイオン電池付きの空調服が発火する事例が発生しています。

分別せずにごみを捨てると、思わぬ事故につながる可能性があります。リチウムイオン電池を使用した製品やスプレー缶は必ず分別し、適正に処分しましょう。



発火した収集車



発火事故が起きた処理施設

提供/公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

#### リサイクルマークがある電池の処分方法

リサイクルマークがある電池は、リサイクル協力店へお持ち込みください。現在は環境美化センターへの持ち込みも可能です。膨張したものやマークがないもの、大量に持ち込みたい場合などリサイクル協力店では回収できない電池の処分方法については、清掃リサイクル課(☎94-7502)へご相談ください。



充電式電池回収協力場所

#### 市内の回収場所

◆環境美化センター

◆市内の回収協力店

◆ロイヤルホームセンター伊勢原◆エディオンいせはらcoma店◆イトーヨーカ堂伊勢原店



ニカド電池 ニッケル水素電池 リチウムイオン電池

#### 電動アシスト付き自転車の充電電池の処分方法

充電電池を取り外してから、自転車と一緒に粗大ごみとして出してください。

#### スプレー缶の処分方法

スプレー缶は、穴を開けてガス抜きをする、ガスに引火して爆発する恐れがあります。スプレー缶を出すときは、中身を使い切り穴を開けずに不燃物の収集日に有害物として出してください。